

2015年度 人間科学研究所 萌芽的プロジェクト研究助成プログラム 募集要項

2015年4月 人間科学研究所

本公募は、今後の研究所の発展に寄与するような研究プロジェクトに対して支援し、強化するための研究助成プログラムである。学内公募にて受付け、研究計画や研究成果等の実現可能性、又若手研究者育成の観点等を重視し審査を行う。また、本プロジェクト研究は、次年度以降に、科研費をはじめとする学外研究費の導入を図る等、更なる研究展開を通じて、次代の研究活動の担い手を促進することを目的とした研究助成プログラムである。

募集内容

名称：人間科学研究所 萌芽的プロジェクト研究助成プログラム

申請資格：研究代表者は、以下のいずれかの資格を満たすこと。

- 本学専任教員※(一部有期限の任用者を含む)
※本学の教授・准教授・特別契約教員(教授・准教授)・特別招聘教員・任期制教員(教授・准教授)・助教、等
- 本学専門研究員プログラムにて雇用されており所属が本学衣笠総合研究機構である者
※研究代表者として応募できる研究課題数は1課題のみとする。

対象分野：①インクルーシブ社会に向けた総合的な対人支援に寄与する研究

②人間と社会に関わる総合的・学際的研究

※いずれかに該当する分野にて申請すること。但し、①に該当する研究を優先して審査を行う。

助成対象：本研究助成プログラムは、以下の3条件を満たす研究を対象とする

- 将来、研究所における重要な研究としての発展が見込まれる研究
 - 研究会活動等を中心とするグループもしくは個人で取り組む研究
 - 次年度、学外研究助成(科研費等)への申請を予定している研究
- ※尚、本助成採択実績のないプロジェクトを優先して審査する。

採択条件：助成採択プロジェクトには、以下の情報提供等を求める。

- プロジェクトメンバーのうち、学内者(学生除く)は研究所「参加研究者」となる。
- 申請されたプロジェクトは、研究所プロジェクトとして位置づけられ、研究所HP内に紹介記事を掲載する。
- 研究所年次総会および研究所HP上の「人間科学のフロント」にて成果発表を行う。年度末に研究活動に関する報告書を提出する。
- 研究成果の公表については、人間科学研究所と関連した活動であることを明らかにした上で行う。
- 研究活動をふまえて、学術誌『立命館人間科学研究』に投稿するよう努める。

助成規模：1件30万円を上限とし、3~5件程度採択(総予算枠100万円程度)

※実際に交付される金額は、全体の配分額・応募条件等によって減額がありうる。

申請締切：2015年5月29日(金)17:00必着

助成対象期間：採択日(2015年7月上旬予定)~2016年2月29日(月) (17:00証憑類必着)

申請方法：人間科学研究所ホームページより申請書をダウンロードし、記入の上、衣笠リサーチオフィス修学館2F窓口(学内便可、締切時刻必着)に持参または郵送(学内便可、締切時刻必着)すること。なお、申請書は最大4ページとする。

URL：<http://www.ritsumeihuman.com/news/read/id/129>

提出・お問合せ先

人間科学研究所事務局（修学館 2F 衣笠リサーチオフィス内）片山・難波・藤岡
TEL：075-465-8358（内線 2558） E-mail：ningen@st.ritsumeai.ac.jp

審査について

研究所運営委員から構成される審査委員会が、採否を決定する。

審査は、下記のポイントを中心に評価を行った上で、総合評価する。

①研究目的、研究の必要性

- ・当該研究分野においての成果が期待できる、または、今後の展開が見込まれる研究課題であるか。
- ・研究課題を設定する視点に、独創性が認められるか。
- ・研究目的が具体的かつ明確に示されているか。

②研究計画・方法

- ・研究目的を達成するため、研究計画は十分練られたものになっているか。

③本プログラムを契機とする研究活動の展開・方向性

- ・本単年度ではなく、継続的に行われるプロジェクトであるか。
- ・萌芽的プロジェクト研究助成である趣旨を理解し、科研費・学外競争的研究費の申請計画など、研究を進展させていく計画を立案しているか。
- ・研究成果を広く発信する方法等を計画しているか。

④下記についてはプラス評価する。

- ・対象分野①インクルーシブ社会に向けた総合的な対人支援に寄与する研究に該当するプロジェクト。
- ・若手研究者を中心とするプロジェクト。
- ・グループで取り組む研究。
- ・研究者学術情報データベース(研究者DB)の入力状況。

2015年度 人間科学研究所 萌芽的プロジェクト 研究助成プログラム 記入要領

1 概要

研究代表者

- ・ 「募集要項」にある申請資格を満たす人物であること。
- ・ 研究代表者は、研究課題を統括し、研究計画の遂行、研究成果の取りまとめおよび研究成果の公表など、全ての責任を持つ者。研究代表者(申請者)は、本学専任教員(※)又は本学専門研究員プログラムにて雇用されており所属が本学衣笠総合研究機構である者とする。
※本学の教授・准教授・専任講師・特別契約教員(教授・准教授)・特別招聘教員・任期制教員(教授・准教授・講師)・助教 等

申請額

- ・ 1件あたり上限30万円とする。ただし、実際の交付にあたり減額がありえる。

研究課題

- ・ 対象分野(①インクルーシブ社会に向けた総合的な対人支援に寄与する研究 ②人間と社会に関わる総合的・学際的研究)のどちらに該当するかチェックした上で、課題名を記載すること。

プロジェクト名

- ・ この名称にて人間研HP内で紹介ページを設ける。研究会の運営等のクレジットに際し、短く分かりやすい名称を付けること。(例:〇〇プロジェクト/〇〇研究会)。

プロジェクトメンバー

- ・ 研究メンバーの人数は問わないが、着実な研究推進が可能な体制であること。
- ・ 研究代表者及び研究分担者は、多数の研究計画に参画することにより、その責任が果たせなくなることを留意すること。
- ・ 大学院生は、立命館大学に在籍する院生で、本研究活動に参画する者であること。

2 背景と研究目的

- ・ 本研究の具体的な目的について、特に次の点に絞り、明確に記述すること。①研究の学術的背景 ②研究期間内に明らかにすること ③研究の学術的な特色・独創的な点

3 2015年度研究計画・方法

- ・ 具体的な研究計画・方法を記入すること。また、研究費執行目的との関連、研究代表者・研究分担者を含む構成員の相互関係(役割分担状況)も含めて記入すること。(用紙が不足する場合は追加して記入すること)
- ・ 助成期間後も継続的に行われるプロジェクトである場合は、その旨も記載すること。

4 研究費の内訳

- ・ 執行予定の経費を、項目を立てて記入すること。執行は、本学規程に準じる。執行できる経費については、研究部作成の「研究費執行ガイドブック」を参照。
(研究部HP: <http://www.ritsumeit.ac.jp/research/member/file/001/011/011-p01.pdf>)

5 学内・学外資金獲得状況/申請予定

- ・ 獲得状況欄へ、現在受給している研究費を明記。申請予定欄へ学内・学外問わず研究費への申請予定(申請計画)を明記すること。

6 受入教員承認欄

- ・ 研究代表者が専門研究員である場合の申請については、受入教員の承認を得てから提出すること。

※必要に応じ、申請書のページ数を増やして構いません。但し、合計4ページまでとします。